都市再生整備計画（第5回変更）

分水地区（ぶんすいちく）

新潟県（にいがた）　燕市（つばめし）

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	燕市（つばめし）	地区名	分水地区（ぶんすいちく）	面積	620 ha

計画期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度

目標

若年層の定住と地域交流を促進するまちづくり

目標1　若い世代が定住するような、豊かな自然との調和や利便性、文化性の高い都市生活ができる住環境を形成する。

目標2　新市に合併後も地域の生活拠点としての中心性を維持する都市基盤や交流施設により魅力ある生活環境を形成し、地域の交流を図る。

目標3　分水に住む誇りを持てる自然環境を活かした施設の整備と有効な利用運営を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、信濃川沿いの平坦な農村地帯にあり大正11年東洋一の大工事であった大河津分水路の完成以来、安定した農業と新たな工業導入などにより、産業転換を図りつつ比較的安定したまちづくりが進められてきた。分水庁舎や分水駅周辺の商店街を核とした中心市街地は、車社会に対応した大規模小売店の立地など緩やかな拡大が見られるほか、文化センター、良寛史料館などの文化施設、保健センター、福祉会館などの福祉施設、総合体育館、サンスポーツランドなどのスポーツ施設が点在して配置され、地区の中心地としての役割を担ってきた。中心部を横断する中央通り線は整備されているものの、市街地における都市計画道路や中心市街地へのアクセス道路は十分とはいえない状況である。また、既存の市街地内や周辺部で土地区画整理事業などにより住宅地の整備が行われ、縁辺部では工業団地の整備も行われてきた。このような市街地の整備に合わせて、小規模な公園の整備も進められてきた。現在は、車社会の進展に伴い住民の行動範囲が拡散していること、高齢者人口が増加し活力が失われることなどから、中心市街地の賑わいが薄れ、求心性が減少する傾向が見られる。

上位計画としては、第四次県央広域市町村圏振興整備計画では「自然と産業が共生する緑の文化圏」を将来像とイメージし、観光・レクリェーション機能、住機能が分水地区の役割と位置付けられている。 また、燕市、吉田町との合併にあたり策定された新市建設計画では、 ①育成：人を育てる　②参画：人を活かす　③交流：人がふれあう　④協力：人が助け合うの四つを基本理念として、「人と自然と産業が調和しながら、進化するまちをめざして（ひとづくり・ものづくり・自然を活かしたまちづくり）」を将来像としている。将来像の実現に向けて、①「人が育ち、活躍するまちをめざして」住民参加やイベント等を通じた住民交流、②「みんながみんなに優しいまちをめざして」誰もが安心して暮らせる環境づくり、③「個性とバランスを活かして発展するまちをみざして」工業技術の向上や農業基盤整備、既存商店街の再生と活性化、④「住みやすい愛着のあるまちをめざして」地域間交流の促進、生活環境の整備促進、⑤「健やかな心と体を育てるまちをめざして」文化・スポーツ施設の整備、スポーツクラブなどの支援、など5つの基本方針として種々の施策を進めていくこととしている。

新市建設計画の策定にあたっては、まちづくりビジョン住民会議におけるワークショップや自由討議が行われたほか各地区での住民説明会が行われ計画に対する意見が集約され策定されている。（住民会議は7回、説明会は分水地区で2回行われた。）

また、本計画の核となる大河津分水広域公園については、平成14年1月から10月までの間、住民代表14名とコーディネーター1名による大河津分水ワークショップを計9回開催し空間デザインが取りまとめられている。

課題

合併に伴い、新市の発展が地区に偏ることなく、バランスを持ってそれぞれの地区が進化することを勘案し、分水地区の課題は「定住の促進と中心性の確保」であり、その内容は次のとおりである。

●若年層等の定住を促進する良好な住宅地が不足している。　①活力を生み出す若い人々が安心して定住を図る場所が必要である。②魅力ある自然環境を生かした住宅地が少ない。

●健全で心豊かな人を育てる質の高い生活環境を維持していく必要がある。 ①豊かな心を育てる文化施設等の拡充を図る。②健康な人を育てるスポーツ施設等の拡充を図る。

●中心市街の魅力を高め、求心性と住民交流を増大する必要がある。 ①求心性を堅固なものとする必要がある。②人をひきつける魅力ある施設により広域交流を促進する。③観光資源として活用する。

●住民と協働して自然を積極的に活用する環境整備が必要。 ①地域の特徴である自然の活用が十分でない。②住民と協働でまちづくりを行うことが必要である。

将来ビジョン（中長期）

JR分水駅を中心とした本地区は新市合併後も新たな市域の中で、多様で質の高い生活関連施設が集積し、また、地域交流を促進する道路交通網や公共交通体系の重要な役割を果たす地区となるものである。

今後も周辺市街地と密接に関連する中心市街地として「住み続けたい、訪れたい、文化と自然にあふれたまちづくり」を基本テーマにまちづくりを推進する。

本計画は、当該地区の将来像を「水の文化を大切にし、住民が生き生きと生活する活力に満ちた地域」と位置付け、賑わい空間の形成、利便性の高い生活環境の形成、信濃川水の文化ゾーンの形成、多様なアメニティ空間の創出、歩行者ネットワークの確立を地域の整備目標としている都市計画マスタープランの考えを具現化するものである。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
新築住宅着工件数	件	当地区内における新築住宅の着工件数	自然との調和や利便性、文化性の高い住環境及び生活拠点としての環境が整っているかの指標とする。	33	H16	40	H22
文化センター来館者数	人	来館利用者数	都市施設の整備により生活拠点としての中心性を高めると共に、地域の交流を図り魅力ある生活環境であるかの指標とする。	47,405	H16	48,500	H22
（仮称）地域交流センター来館者数	人	来館利用者数	〃	72,992	H16	80,000	H22
あけぼの多目的屋内運動場来館者数	人	来館利用者数	都市施設の整備により生活拠点としての中心性を高めると共に、利便性を高め定住を促進する環境であるかの指標とする。	13,725	H16	15,000	H22
コミュニティバス利用者数	人	コミュニティバス乗降利用者数	都市施設の整備により生活拠点としての中心性、利便性を高めると共に、地域の交流を図り魅力ある生活環境であるかの指標とする。	0	H16	5,000	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
1定住を促進する良好な住環境の整備を図る １－①中心市街地に近接する利便性の高い住環境を整備する １－②周辺集落等とのアクセス性を高める １－③浸水区域の浸水被害を防ぎ防災機能の向上を図る。	１－①に合致する主要な事業 ・都市計画道路五千石・野中才線整備事業（基幹事業・道路） ・五千石・野中才線道路改良事業（関連事業） ・五千石地区排水対策事業（基幹事業・地域生活基盤施設） ・西裏14号線整備事業（基幹事業・道路） １－②に合致する主要な事業 ・町畑東西線、町畑南北線整備事業（基幹事業・道路） ・コミュニティバス実証実験（提案事業・地域創造支援事業） 1-③に合致する主要事業 ・五千石地区排水対策事業（基幹事業・地域生活基盤施設）
2中心市街地の魅力の向上とアクセスの強化を図る ２－①魅力ある質の高い施設の整備と既存施設の拡充による交流拠点の整備 ２－②施設のアクセス性の向上	２－①に合致する主要な事業 ・文化センター施設整備事業（提案事業・地域創造支援事業） ・（仮称）地域交流センター整備事業（基幹事業・高次都市施設） ・多目的アリーナ等再整備事業（提案事業・地域創造支援事業） ・（仮称）あけぼの多目的屋内運動場2号棟新設事業（提案事業・地域創造支援事業） ２－②に合致する主要な事業 ・町畑東西線、町畑南北線整備事業（基幹事業・道路） ・コミュニティバス実証実験（提案事業・地域創造支援事業）
3豊かな自然の活用 ３－①訪れやすい自然環境や親水施設等の整備 ３－②住民と協働でつくりあげ、維持する仕組みづくり ３－③燕市地域防災計画の避難場所として指定し、防災機能の向上を図る。	３－①に合致する主要な事業 ・大河津分水さくら公園整備事業（基幹事業・公園）、 ・新川堤防線整備事業（基幹事業・道路）、 ・大河津分水路右岸堤防公園整備事業（基幹事業・地域生活基盤施設） ３－②に合致する主要な事業 ・新規ｲﾍﾞﾝﾄの開催、総合型地域スポーツ振興事業（提案事業・地域創造支援） ・まちづくり協議会事業、さくら保全・育成事業（提案事業・まちづくり活動推進） ３－③に合致する主要事業 ・大河津分水さくら公園整備事業（基幹事業・公園）

その他

住民等による継続的なまちづくり活動
　施設の維持管理、清掃等への住民等の参加
　イベント等まちの運営・管理等を行う組織の活動
　事後評価への住民等の参加

中心市街地の拡散防止
　市街地周辺の優良農地の保全による都市機能の拡散を防止する

公共交通体系の確立
　住民の生活にとって重要な公共交通機関については、新たな市域における自由で安全な公共交通機関の検討を進め、利便性が高く効率的な体系の確立と、計画的な整備・運営を推進する。

景観環境保全の制度活用
　新市街地など豊かな自然環境の保全、既存市街地の景観保全等に対応して、地区計画制度、住民協定制度等規制誘導を図るよう住民とともに推進する

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,458	交付限度額	1011.5	国費率	0.412

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路	地方道	町畑東西線	燕市	直	540m	18	22	18	22	179	179	179		179
道路	地方道	町畑南北線	燕市	直	760m	18	20	18	20	191	191	191		191
道路	地方道	新川堤防線	燕市	直	300m	20	22	20	22	59	59	59		59
道路	地方道	西裏14号線	燕市	直	130m	22	22	22	22	27	27	27		27
道路	街路	都市計画道路五千石・野中才線	燕市	直	620m	18	22	18	22	365	365	365		365
公園	その他	大河津分水さくら公園	燕市	直	5.0ha	18	22	18	22	497	497	497		497
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		大河津分水路右岸堤防公園	燕市	直	1箇所	18	19	18	19	33	33	33		33
		五千石地区排水対策	燕市	直	470m	19	22	19	22	105	105	105		105
高質空間形成施設														
高次都市施設		（仮称）地域交流センター	燕市	直	延床1300m2	18	22	18	22	395	395	395		395
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,851	1,851	1,851	0	1,851 …A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	（仮称）あけぼの多目的屋内運動場2号棟新設	分水あけぼの地内	燕市	直	延床1360m2	18	19	18	19	144	144	144		144
	文化センター施設整備事業	笈ヶ島地内	燕市	直	機械施設一式	18	18	18	18	74	74	74		74
	多目的アリーナ等再整備事業	分水向陽地内	燕市	直	延床3520m2	18	21	18	21	328	328	328		328
	新規イベントの開催	ー	燕市分水地区観光協会	間		18	18	18	18	1	1	1		1
	コミュニティバス実証実験	ー	燕市	直		18	20	18	20	24	24	24		24
	総合型地域スポーツ振興事業	ー	NPOクラブスポーツバイキングぶんすい	間		18	20	18	20	63	63	30	33	30
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業	まちづくり協議会事業	ー	分水地区まちづくり協議会	間	ー	18	20	18	20	6	6	6		6
	さくら保全・育成事業	ー	NPO分水さくらを守る会	間	ー	18	20	18	20	4	4	0.6	3	0
合計										644	644	607	36	607 …B
													合計(A+B)	2,458

分水地区（新潟県燕市） 整備方針概要図

目標	若年層の定住と地域交流を促進するまちづくり	代表的な指標							
			新築住宅着工件数	（ 件 ）	33	（ 16年度）	→	40	（ 22 年度）
			文化センター来館者数	（ 人 ）	47,405	（ 16年度）	→	48,500	（ 22 年度）
			（仮称）地域交流センター来館者数	（ 人 ）	72,992	（ 16年度）	→	80,000	（ 22 年度）

■基幹事業
高次都市施設事業
（仮称）地域交流センター整備事業

□提案事業
地域創造支援事業
多目的アリーナ等再整備事業

■基幹事業 道路事業 地
町畑東西線整備事業 L=540m、W=7～10m

○関連事業 五千石・野中才線
道路改良事業 L＝150m

■基幹事業 道路 街 都市計画道路
五千石・野中才線 L=620m、W=12～14.25m

■基幹事業 道路事業 地
西裏14号線整備事業 L=130m、W=7m

■基幹事業 地域生活基盤施設
大河津分水路右岸堤防公園整備事業
ポケットパーク N＝1箇所

■基幹事業 地域生活基盤施設
五千石地区排水対策事業 L＝470m

○関連事業
五千石新町線道路改良事業 L＝150m

○関連事業
大河津分水路改修事業

■基幹事業 道路事業 地
町畑南北線整備事業
L=760m、W=7～13m

□提案事業
地域創造支援事業
（仮称）あけぼの多目的屋内運動場
2号棟新設事業

○関連事業
本町野中才線側溝工事 L＝300m

○関連事業
市場通り線側溝工事 L＝500m

□提案事業
地域創造支援事業
コミュニティバス実証実験

□提案事業
地域創造支援事業
文化センター施設整備事業

■基幹事業 道路事業 地
新川堤防線整備事業
L＝300m、W=8m

■基幹事業 公園事業
大河津分水さくら公園整備事業 A＝5.0ha

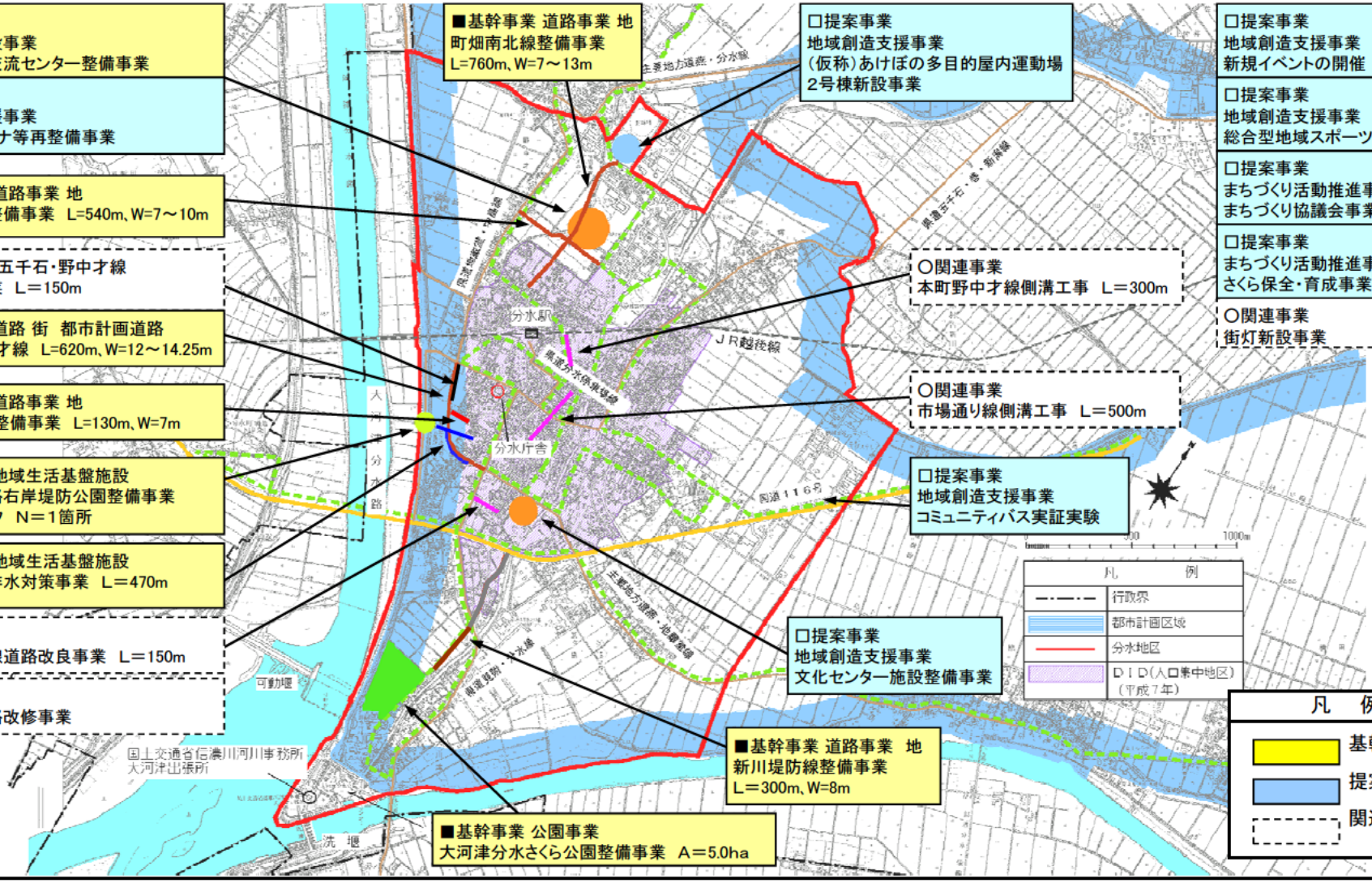
□提案事業
地域創造支援事業
新規イベントの開催

□提案事業
地域創造支援事業
総合型地域スポーツ振興事業

□提案事業
まちづくり活動推進事業
まちづくり協議会事業

□提案事業
まちづくり活動推進事業
さくら保全・育成事業

○関連事業
街灯新設事業



凡 例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業